## ジョバンニ

いつのころからだろう。会議の前になると、俺の机の上に日本がレジュ メみたいなプリントを置くようになった。今日はこれだ。

Q: ぼくたち、どこまでも一緒に行こうねえ

A: 受けは誰でしょう?

イギリス「なんだこれは」

日本「簡単な適性検査です。宮沢賢治の抜粋です。|

イギリス「またそういうのに付き合うのか…受け入れてるのはジョバンニ

だから, ジョバンニが受け?」

日本「ファイナルアンサー?」

イギリス「ファッ!? |

日本「ジョバンニはこのあと消えてしまうのですよ」

イギリス「そうなのか…|

日本「ライフラインは?」

イギリス「ファッ!?」

日本「オーディエンス,テレフォン,50/50を一度だけ使えます」

イギリス「おいおい,カップリングだから最初から 50/50 じゃねえか」

日本「そう思い込んでる罠かもしれませんよ」

イギリス「たしかに,登場人物は渡り鳥ハンターや神父もいたっけか。じゃあ, 50/50 で」

日本「ジョバンニかカンパネラです|

イギリス「だ、か、ら!愉しそうだなお前」

日本「愉しいです。こんな話につきあってくれるイギリスさんこそが受け の王道ですよ。可愛いですね。あ、イギリスさん、どこへ行くんです か? |

## 日英のラブソング

あんまりそわそわしないで あなたはいつでもキョロキョロ 浮気をするのはやめましょう わたしがあなたを一番 好きです 好きです

国々が輝く会議 眺めましょう 世界のすべて いまごろはあなたは無意識で ご自身の総受けに夢中

ああ イギリスさんって いくつも愛をもってらっしゃる ああ 惜しげなくばらまいて わたしを悩ませてます

あんまりそわそわしないで あなたの瞳は私のもの よそみをしなくて良いんですよ

わたしが誰より一番

一番好きですから

元歌詞: [ラムのラブソング]

アニメ [うる星やつら] 主題歌

# バファリン

いつのころからだろう。会議の前になると、俺の机の上に日本がレジュ メみたいなプリントを置くようになった。今日はこれだ。

Q:バファリンの半分は

A: イギリスでできている

イギリス「これはなんだ」

日本「バファリンとは、わが国でメジャーな頭痛鎮静剤です。|

イギリス「主要原産国がウチなのか? 聞いたことないが」

日本「いえ. これは CM のパロディになっています。 |

イギリス「ほほう」

日本「元の CM は "バファリンの半分は、やさしさでできている" |

イギリス「おう, 俺がやさしいってことか。お前もたまにはいいこと言う じゃないか」

日本「ええ、やさしいですとも。いつまでも妖精を信じていたり、恋人が つまらない冗談ばかり言っても笑ってくれたり。」

イギリス「ひっかかるが、いちおう褒めてるな」

日本「どんな無茶振りにも耐え抜いたり」

イギリス「そこは違うと思うが」

日本「自分のことを臆面なくやさしいと言い出したり。あ, イギリスさん,

どこへ行くんですか?」

### たとえばこんなラブソング

歌うのはいつも

つまらないラブソング

わたしが歌うのは

安っぽいラブソング

そうです、あなたが好きです

たわいもないことです

どこかで聞いたような

わたしが歌うのは

安っぽいラブソング

いつも口ずさんでます

あなたが好きです

わたしはそれしか知らない

ほかの言葉知らない

だけど言葉でないが言えるでしょう

フランスさんのように

いい歌は分かりません

わたしが歌うのは

つまらないラブソング

ちょうどビートルズのコーラスをまぜながら

しゃらんらららら あなたが,

しゃらんらららら 好きです

しゃらんららららあなたが.

しゃらんらららら

元歌詞: RC サクセション [たとえばこんなラブソング]

アルバム [PLEASE] 収録

#### フランチェスコ談話

いつのころからだろう。会議の前になると、俺の机の上に日本がレジュ メみたいなプリントを置くようになった。今日はこれだ。

#### ebay での取引実績

ロシア

ボーナス目当てで落札

ボーナス出なかったのでキャンセル

ペルー

順当に二週間で取引完了

イタリー

日本から直接輸入する方法がないので、ドイツに泣き付いて代行輸入

テキサス

落札から送付までに四時間

しかし、砂嵐のため届くのに 16 日かかつた。

イギリス「なんとなく見覚えのあるイタリーだな」

日本「ありますよね。彼の名はフランチェスコ。|

イギリス「続くのかよ!手短にたのむぜ?」

日本「モトローラ ATRIX が欲しくて探していたところ、わが国のすみさんが出品していて」

イギリス「だから誰だよ」

日本「無事に廉価に50ドルで落札。うわーいバンザーイ、と思ったら、思

わぬ障害が。|

イギリス「どうした。|

日本「日本の法律は厳しくて、リチウム電池を空輸できない相手国がある のです。爆薬に転用できますからね。|

イギリス「ふむ」

日本「イタリーはそれ以前で、そもそも携帯電話自体を個人輸出できませ ん。これにはすみさんも驚いた。|

イギリス「だから誰だよ…マフィアとかの事情か?」

日本「即座に返金して事情を説明したんですが、フランチェスコにはがえ んじられない。やだいやだい、すみさんから買いたいよ、なにかよい 知恵はないかなマイフレンド?」

イギリス「他人まかせか」

日本「すみさんも人がよいですから、ドイツかオーストリアに知人がいる なら代行輸入はどうだろう、と提案しました。」

イギリス「ふむん」

日本「いるよ!ドイツにはクルツがいるよ!クルツもマイフレンドさ。調 べてもらうよ。 | イギリス「フレンド多いな。それで代行輸入成立、と。長かったな。」

日本「ドイツからイタリーまでの輸送が20ユーロもして高いから,いっちょ

思い切って出稼ぎに行ってくるよ。ありがとうマイフレンド

イギリス「ドタバタしたやつだな!

日本「1ヶ月後にまたメールがきまして。マイフレンド、ATRIX は快調さ! ローマにくる機会があったら、必ず声をかけてね!最っ高に美味しい ピッツァをご馳走するから! |

イギリス「…終わりか?」

日本「はい、話し終えました。|

イギリス「長かったなマイフレンド。」

日本「どういたしましてマイフレンド。可愛いでしょう、フランチェスコ」

イギリス「じゃあ、俺はちょっとイタリーはローマを視察に…」

日本「駄目です!浮気は許しません!」

イギリス「す, すまん」

日本「フランチェスコはクルツの嫁に決まってるんです」

イギリス「そっちかよ!」